

目次

サポート窓口	2
ジャンプスタート	3
DV ファイルコンバーターとは?	5
インストールとアンインストール	5
DV ファイルコンバーターを使う	5
ファイル変換	5
QuickTime オプション	6
AVI オプション	7
SONY DSR-DU1/DR1000 ファイルについて	7
AVID OMF ファイルについて	8
データ変換	8
変換を中止する	8
ftp 転送	8
ターゲット ファイル名 トークン	9
自動変換モード	9
変換したファイルを開く	10
ファイルを結合する	10
DV オーディオの抽出	10
DV オーディオの挿入	11
コーデックを変更する(AVIのみ)	11
Premiere のタイムコードをつける(AVI のみ)	11
コピーライト(著作権)情報を付加する(AVIのみ)	11
コマンドラインの使用法	12
Prefernces ページ	20
About ページ	21
Registration $\sim - \dot{v}$	22
改版履歴	22

サポート窓口 株式会社エム・アンド・アイ ネットワーク DavaVideoサポート係 〒104-0033 東京都中央区新川2-1-7 日新ビル2F TEL:03-3552-7241 FAX:03-3552-7242 MAIL:<u>mail@min.co.jp</u> URL:<u>http://www.datavideo.jp/</u>

ジャンプスタート

ファイル(または、ファイルが入っているディレクトリー)を Files リストにドラッグアンドドロップします。 Add ボタンを使ってファイルセレクター内のファイルを選択することもできます。

Datavideo DV File Converter v1.0				
Conversion Preferences About Registration				
Operation: Convert To AVI Type 2/OpenDN	1L Start Processing!			
Codec: DVCPRO25 Data Conversion: Convert To DVCPRO25 Audio Interleave: 10:1 Range: from: start to: end Frames Add Add Premiere Timecode				
Output Folder: <source folder=""/> /Converted Filename: <source/> .avi Output Options: Select When Finished: Do Nothing				
Automatic Conversion Input Folder: C:\RENDER*.DIF Browse				
Files:				
SMPTEBars.dif	DIF/DV NTSC 4:1:1 (4:3 format)			
MyMoviePAL.mov	QuickTime DV PAL 4:2:0 (4:3 format)			
DVCPRO_411.dif	DIF/DVCPRO PAL 4:1:1 (4:3 format)			
Documentary.avi	AVI Type-2 DV (Microsoft) PAL 4:2:0 (4:3 format) 🤝			
4 files	Show Path			
Add Remove Remove All				

■Operation でファイルを変換する方法を選択します。

■Output Folder(出力フォルダー)、Output Options(出力オプション)、Filename(ファイル名)を設定します。

■ Start Processing!ボタンを押します。スタートすると Start Processing!ボタンが STOP Processing!ボタンに変わ ります。(変換処理を中断する場合は、STOP Processing!ボタンを押します。)

Datavideo DV File Converter v1.0				
Conversion Preferences About Registration				
Operation: Convert To AVI Type 2/OpenDM				
Codec: DVCPRO25 Data Convers	ion: Convert To DVCPRO25			
Range: from: start to: end Frames Add Premiere Timecode				
Output Folder: <source folder=""/> /Converted Filename: <source/> .avi Output Options: Select When Finished: Do Nothing				
Automatic Conversion Input Folder: C:\RENDER*.DIF Browse				
Files:				
SMPTEBars.dif	Done (SMPTEBars.avi)			
MyMoviePAL.mov	Processing (32 %)			
DVCPRO_411.dif	DIF/DVCPRO PAL 4:1:1 (4:3 format)			
Documentary.avi	AVI Type-2 DV (Microsoft) PAL 4:2:0 (4:3 format) 🤝			
4 files	Show Path			
Add Remove Remove All				

DV ファイルコンバーターとは?

DV ファイルコンバーターは、映像ファイルを変換するソフトです。DVC Pro 形式を扱う放送業界や映像関連業務 に携わる人たちのために開発されました。DV/DVCAM/DVC Pro 圧縮の映像データを含んだファイルを処理しま す。多くの DV 編集ソフトは 1 種類のファイル形式にしか対応していない場合が多く、別の形式のファイルを取扱 えません。または、異なったコーデックでファイルを作成してしまいます。DV ファイルコンバーターは、品質を劣化 させることなく必要なファイル形式に映像ファイルを変換することができます。

注意: DV ファイルコンバーターは、DV/DVC Pro の映像を取扱うことができます。

インストールとアンインストール

DV ファイルコンバーターは、ダウロードした自己解凍形式のファイルを実行するとインストールされます。ファイルが(デフォルトは、C:¥Program Files¥Datavideo)解凍されます。

「DVFileConverter.exe」をダブルクリックするか、Windows の「スタート」メニューの「プログラム」メニューから 「Datavideo」→「Datavideo DV File Converter」を選択します。

アンインストールは、Windows の「スタート」メニューの「プログラム」メニューから「Datavideo」→「Uninstall Datavideo DV File Converter」を選択します。

DV ファイルコンバーターを使う

■ファイル変換

変換できるファイル形式は以下のとおりです。

- QuickTime (セパレートオーディオトラックあり / なし)
 QuickTime は、本来は MacOS 上で使用します。ファイルの拡張子は、.mov、または、.qt です。
- QuickTime リファレンスムービー (セパレートオーディオトラックあり / なし、インポートのみ) 他のファイルの映像 / 音声フレームへの参照データを含んだ QuickTime 形式です(ムービーやトラックの参照ではありません)。この形式は、読込み専用です。
- AVI Type 1 (OpenDML 拡張仕様あり / なし)
 1 つの DV データストリームを含んでいます。オーディオストリームは含んでいません。
 音声は圧縮した DV フレームに含まれています。
- AVI Type 2 (OpenDML 拡張仕様あり / なし)
 DV ストリームとオーディオストリーム、2 つのストリームを含んでいます。
 音声は圧縮した DV フレームを無視します。

5. 参照 AVI Type 1

DV フレームは、別のデータファイルに書かれています。(例 file.000、file.001...など) マスターAVI ファイルは、他のデータファイル内の DV フレームへの参照データのみ含まれています。 リファレンスは、ファイル名も含んでいます。データファイルは、ハードディスクの他の場所へコピーされる ことはありません。リファレンス AVI ファイルに格納された映像データだけがハードディスクの容量を圧迫 します。

6. 参照 AVI Type 2

「リファレンス AVI Type 1」と同じですが、マスターAVI ファイルにオーディオストリームが含まれる点が異なります。

- 7. Canopus AVI Type 1 / Type 2 Canopus 製品で使用する AVI の形式です。
- 8. Matrox RT2500/DigiSuite AVI Matrox RT2000/RT2500/DigiSuite 製品で使用する AVI の形式です。
- 9. Raw DV (.dv/.dif/.dvsd)

ヘッダーなどを含まない DV フレームです。ほとんどのソフトは、この形式に対応しています。

- 10. SONY ES-3 DV ファイル(.dv) SONY ES-3 EditStation や他の製品で使用します。
- SONY DSR-DU1 ファイル(.dvd)
 SONY DSR-DU1 DVCAM ハードディスクユニットで使用します。DV データファイル(.dvd) やプレイリスト (.dlx、.dlt)のインポート、DV データファイルのエクスポート(.dvd)を行います。
- 12. AVID DV OMF ファイル(.omf) AVID[®] のノンリニア編集システムで使用する Open Media Framework ファイルです。

■QuickTime オプション

Write Separate Audio Track: QuickTime にムービートラックしか含まれていない場合、ソフトによっては音声を再 生したり、取出せないことがあります。本オプションを ON にすると、映像トラックと音声トラックを持つことができま す。

Use 64-Bit File Offsets:4GB より大きいサイズのファイルを扱う場合は、本オプションを ON にします。 QuickTime では、64 ビットのファイルを扱える可能性を含んでいたとしても、ソフトによっては、そのファイルを読込 めないことがありますので、ご注意ください。

Codec:ファイルに書込むコーデックの ID を選択します。

Audio Interleave:映像データと音声データをファイルに書出す方法を選択します。1:1 は、音声チャンクは映像チャンクの後に1 個ずつ交互に配置されることを表します(VAVAVA...)。音声は映像を数フレーム続けた後にまとめ て書出すこともできます。たとえば、5:1 にすると、5 個の映像チャンクと1 個の音声チャンクを表します (VVVVVAVVVVA...)。ソフトが古い場合は、1:1 のインターリーブしか受付けないことがあります。 10~15 フレームに設定するのが良いでしょう。

現バージョンでは、QuickTime リファレンスムービーは、読込み専用ですのでご注意ください。ムービーリファレン スやトラックリファレンスとは対照的にデータリファレンスに対応しているにすぎません。これは、5個の他のムービ ーへの参照を含んだリファレンムービーには、対応せず、別ファイルの映像や音声を取込んだムービーに対応し ます。

■AVI オプション

Codec:キャプチャーボードやソフトに対応したコーデックを選択します。販売店ごとに、それぞれのコーデック ID が与えられています。

Audio Interleave:映像データと音声データをファイルに書出す方法を選択します。1:1 は、音声チャンクは映像チャンクの後に1 個ずつ交互に配置されることを表します(VAVAVA...)。音声は映像を数フレーム続けた後にまとめて書出すこともできます。たとえば、5:1 にすると、5 個の映像チャンクと1 個の音声チャンクを表します (VVVVVAVVVVA...)。ソフトが古い場合は、1:1 のインターリーブしか受付けないことがあります。 10~15 フレームに設定するのが良いでしょう。

■SONY DSR-DU1/DR1000 ファイルについて

DV データファイル(.dvd)のほかに、プレイリストファイル(.dlx、または、.dlt)もインポートできます。プレイリストを変換した場合は、プレイリスト中のすべてのファイルが利用できます(アトリビュートファイルも含む)。ただし変換エラーが生じた場合は利用できません。

DR1000 ファイル形式に変換する場合は、出力ファイルは 2GB ずつ、分割されます(DU1/DR1000 による制限)。 新しいアトリビュートファイルは、既存のアトリビュートファイルに統合されません。

空のディレクトリーを選択し、ファイル名を「000001.dvd」とするのが良いでしょう。

その場合は DR1000 よりダウンロードし、DR 1000 ファイル形式から変換したファイルを使用します。

■AVID OMF ファイルについて

SONY DSR-DU1 のファイルをインポートし、OMF に変換したタイムコード付のファイルを AVID のノンリニア編集 システムに取込むことが可能になります。もちろん、それ以外のファイルを OMF ファイルに変換することもできま す。バージョン 1.0、2.0 のどちらにもエクスポートできます(インポートはいくつかの制限があります)。 OMF コンテンツによっては、インポートできないことがあります。OMF はいくつかのトラックやトランジション、エフェ クトを構成したものを含めることができます。このようなファイルはインポートできません。ノンリニア編集システム でのみ処理できます。しかし、OMF としてエクスポートしたメディアファイル、または、コンソリデートされたメディア を伴った OMF ファイルはインポートできます。

■データ変換

変換後のデータの形式(None / DV/DVCAM / DVC Pro25)を選択します。

「None」を選択すると、データは変更されません。

明らかに2つのデータ形式が異なる場合(DV->DVC Pro、または、DVC Pro->DV)に、変換(DV フレームのデコード、および、再エンコードを含む)は行われます。この場合非劣化の変換は不可能です。

■変換を中止する

変換中は緑色のステータスバーと「Processing...」のメッセージが表示されます。 変換が正常に終了すると背景は緑色になり、失敗すると赤くなります。 エラーファイルのほかにエラーメッセージが表示されます。 変換はいつでも中止できます。中止する場合は「STOP Processing」ボタンを押します。

■ftp 転送

変換したファイルを自動的に ftp サイト(例えば、ビデオサーバー)にアップロードすることが可能です。これを実行 するには、Output Folder メニューから Other ftp Upload...を選択すると、「<u>ftp://user:pw@ftp.host.net/path</u>」のよう にftp情報が明記されます。次に、「user(ユーザー名)」と「pw(パスワード)」、「path(パス)」が設定できます。 「path(パス)」を設定した場合は、パスは既存のものでなければなりません。ファイルがすでに存在する場合は、 変換したファイルを上書きします。

■ターゲット ファイル名 トークン

トークン	意味
<source/> , *	拡張子なしのソースファイル名
	例:ソースファイル名が「ocean.avi」の場合、
	<pre>"<source/>" → "ocean"</pre>
<source.ext></source.ext>	拡張子付きのソースファイル名
	Muniter フラフィルタボ[accomention]
<folder_source></folder_source>	ソースフォルター、アンタースコア(_)、拡張子なしのソースファイル名
	 例・ン」
	例 . / · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
<u> </u>	
<0002,#	
	 書出される各ファイルの番号は「001」から増加します。
	例·ソースファイル名が「source avilの場合.
	$"* # avi" \rightarrow "source 001 avi"$
	$"* #.avi" \rightarrow "source 002.avi"$
	$" * #.avi" \rightarrow "source 003.avi"$
	など、それぞれ処理されたファイル
<n></n>	後ろから「n」文字削除します。(n>0)
	例:ソースファイル名が「source.001.avi」の場合、
	"*<4>.wav" -> "source.wav"
<n "text"=""></n>	後ろから「n」文字目の位置に Text を挿入します (n>0)
	例:ソースファイル名が「source.001.avi」の場合、
	"*<-4 "_converted">.mov" -> "source_converted.001.mov"
<timecode></timecode>	パープルタイムコードを挿入します。
	例:
	" <timecode>.dif" -> "00003302N 00010314N V0.dif"</timecode>

■自動変換モード

ソフトを自動変換モードにした場合、指定したディレクトリーを参照し、新しいファイルが見つかったときに変換を開始します。

自動変換を実行するためには、「Automatic Conversion」ボックスをチェックし、Input Folder を選択します。(ディレクトリーにワイルドカードを使うことができます。例、C:**¥IMPORT¥*¥*.dv**)。

「Start Processing!」ボタンを押すと、Input Folder を常にスキャンします。新しいファイルを見つけると、変換処理を 実行し、Output Folder に変換したファイルを書出します。

■変換したファイルを開く

注意:ソフトの中には、変換したファイルの形式やコーデックによって読めないことがあります。これは、変換したフ ァイルが壊れているわけではありません。たとえば、Windows Media Player が DVMaster/DV500 コーデックのファ イルを開けない(コーデックをインストールしていなければ)、参照 AVI Type 1 ファイルを再生できない、Canopus コーデックの参照 AVI Type 2 は再生できるといったことがあります。前述した理由によりリファレンスファイル(.avi ファイルではなく、.000/.001/などのデータファイル)を移動したり、コピーすることはできないということを知ってお いてください。

ファイルを結合する

ファイル結合はファイルリスト内のビデオクリップを結合し、1本の大きなビデオクリップを作成します。マウスでド ラッグしてファイルリスト内のファイルの順序を入替えることができます。出力ファイルの形式とファイル名を選択し ます。「Delete Source Files After Successful Conversion」を指定すると、ディスクの容量を節約することができま す。

※ 本オプションを有効にすると、結合が正常に終了した時点で、元のファイルを削除します。

クリップのつなぎ目のノイズは取除かれます。結合機能は音声のサンプリングの正確さを保ちます。音声は、どんなに長いクリップでも映像に同期します。音声のサンプリングレートが違っても結合できますが、PAL 方式とNTSC 方式のクリップは結合できません。

DV オーディオの抽出

音声コンテンツを 16 ビットの非圧縮 PCM 音声として WAV 形式や AIFF 形式のファイルとして抽出することができ ます。どのような音声チャンネルでもモノラル、または、ステレオのどちらでも抽出できます。 4 チャンネル 32kHz のファイルは、すべてのチャンネルをモノラルとして、また、ステレオ(0 と 1、または、2 と 3)、あるいは、4 チャネル として抽出することができます。

注)メディアプレーヤーによっては、4 チャンネルのファイルを取扱えませんが、DV ビデオファイルに挿入する順位 はできています。

音声ファイルはお好みの映像編集ソフトで別のトラックとして付加えることができます。また、DV ファイルに戻す前 に音声ファイルを加工することができます。

DV オーディオの挿入

音声ファイル(16 ビット非圧縮 PCM オーディオ、モノラル、または、ステレオ、4 チャンネルの WAV 形式や AIFF 形式)を DV ファイルに挿入することができます。オーディオエンコーディング(たとえば、A-law や u-Law、 ADPCM)には対応していません。16 ビット PCM にする必要があります。

コーデックを変更する(AVIのみ)

映像ファイルのコーデック定数を変更することができます。ビデオ編集ソフトやツールによっては、独自の形式しか 対応していないことがあります。たとえば、Windows Media Player と DirectX を使うすべてのソフトは、Microsoft の コーデックしか受付けません。

DV キャプチャーボードで映像を取込んだ場合は、他のソフトで受付けてもらえるよう映像ファイルのコーデックを 変更する必要があります。

映像ファイルを変更したい場合は、「In Place」チェックボックスを選択します。新しいファイルを作成する場合は「In Place」チェックボックスのチェックを外します。

Premiere のタイムコードをつける(AVI のみ)

Premiere のタイムコードを AVI ファイルに付けることができます。タイムコードはファイル名から読出す、または、 AVI ファイルの中の DV フレームから取出します。

映像ファイルを変更したい場合は、「In Place」チェックボックスを選択します。新しいファイルを作成することもできます。その場合は「In Place」チェックボックスのチェックを外します。

コピーライト(著作権)情報を付加する(AVIのみ)

コピーライトに関する文字を映像ファイルに付加するには、本メニューを選択します。入力した文字は AVI ファイル の INFO チャンクに書込まれます。本ソフトで書き込んだ情報をチェックする方法はありません。 映像ファイルを変更したい場合は、「In Place」チェックボックスを選択します。新しいファイルを作成することもでき ます。その場合は「In Place」チェックボックスのチェックを外します。

コマンドラインの使用法

dvfc.exe は、コマンドライン入力のファイルコンバーターです。スクリプトを扱うのに便利です。 Windows のコマンドウインドウを開きます。dvfc -help と入力すると使用法が表示されます。

Datavideo DV File Converter v1.5 (C) 2007 Datavideo Technologies Co.

使い方:

dvfc <operation> [options] <input file(s)> [output folder] [output filename]

<operations> および [options]

-qt: QuickTime 形式に変換します

-dv:ソースを DV/DVCAM に変換します

-dvcpro25:ソースを DVC Pro25 に変換します

-audio:音声トラックだけ分けて書出します

-64:4GB より大きいサイズを扱えるファイル形式で書き出します

-codec <kind>:kind は次の中から選びます

-dvcp:コーデック ID 「dvcp」を付加することができます

-dvc:DV のコーデック ID 「dvc」を使用します

または、カスタムコーデック ID を使用します (<kind>は4文字です)

-rangef <start> <end>: <start>フレームから <end>フレームまでの映像を変換します

-ranget <start> <end>: <start> 秒から <end> 秒までの映像を変換します

-aint <audio interleave factor>:映像データと音声データをファイルに書出します。 (-audio オプションと一緒に指定します) -avi: AVI 形式に変換します

-t1 -type1:AVI Type 1 形式を書出します(セパレートオーディオトラックなし)

-t10 -type1opendml: 拡張仕様 OpenDML をサポートした AVI Type 1 形式を書出します

-t2 -type2: AVI Type 2 形式を書出します (セパレートビデオトラックおよびセパレートオーディオトラック)

-t2o -type2opendml: 拡張仕様 OpenDML をサポートした AVI Type 2 形式を書出します

-t1r -type1ref:参照 AVI Type 1 形式に書出します(映像は別ファイル)

-t2r -type2ref: 参照 AVI Type 2 形式に書出します(映像は別ファイル)

-dv:ソースを DV/DVCAM に変換します

-dvcpro25:ソースを DVC Pro25 に変換します

-codec <kind>:kind は次の中から選びます

"DVC Pro25", "Microsoft", "MainConcept", "Matrox", "VAIO",

"Adaptec", "Miro", "Canopus", "DV500", "DVMaster"

または、カスタムコーデック ID を使用します (<kind>は4文字です)

-rangef <start> <end>: <start>フレームから <end>フレームまでの映像を変換します

-ranget <start> <end>: <start> 秒から <end> 秒までの映像を変換します

-aint <audio interleave factor>:映像データと音声データをファイルに書出します。(Type 2 用)

-premtc:Premiere のタイムコードを付加します

-cavi1: Canopus AVI Type 1 形式に変換します

-dv:ソースを DV/DVCAM に変換します

-dvcpro25:ソースを DVC Pro25 に変換します

-rangef <start> <end>: <start>フレームから<end>フレームまでの映像を変換します

-ranget <start> <end>: <start> 秒から <end> 秒までの映像を変換します

-cavi2:Convert To Canopus AVI Type 2

-dv:ソースを DV/DVCAM に変換します

-dvcpro25:ソースを DVC Pro25 に変換します

-rangef <start> <end>: <start>フレームから<end>フレームまでの映像を変換します

-ranget <start> <end>: <start> 秒から <end> 秒までの映像を変換します

-matrox, -rt2500: Matrox RT2500/DigiSuite AVI 形式に変換します

-writewav:音声だけ別にして.wav 形式ファイルに書出します

-dv:ソースを DV/DVCAM に変換します

-dvcpro25:ソースを DVC Pro25 に変換します

-rangef <start> <end>: <start>フレームから<end>フレームまでの映像を変換します

-ranget <start> <end>: <start> 秒から <end> 秒までの映像を変換します

-dif, -rawdv: Raw DV 形式に変換します

-purpledif: Purple DIF ファイル、および、.wav ファイルに書出します

-dv:ソースを DV/DVCAM に変換します

-dvcpro25:ソースを DVC Pro25 に変換します

-rangef <start> <end>: <start>フレームから<end>フレームまでの映像を変換します

-ranget <start> <end>: <start> 秒から <end> 秒までの映像を変換します

-es3dv:SONY ES-3 DV 形式に変換します

-dv:ソースを DV/DVCAM に変換します

-dvcpro25:ソースを DVC Pro25 に変換します

-rangef <start> <end>: <start>フレームから<end>フレームまでの映像を変換します

-ranget <start> <end>: <start> 秒から <end> 秒までの映像を変換します

-du1:SONY DSR-DU1 形式ファイルに変換します

-dv:ソースを DV/DVCAM に変換します

-dvcpro25:ソースを DVC Pro25 に変換します

-rangef <start> <end>: <start>フレームから<end>フレームまでの映像を変換します

-ranget <start> <end>: <start> 秒から <end> 秒までの映像を変換します

-omf1, -omf2: OMF 形式ファイルに変換します(1.0、または、2.0 仕様)

-edv:DV フレームに音声を埋込みます

-eomf:OMF ファイルに音声を埋込みます(オプションを省略した場合)

-eaiff: AIFF 形式ファイルを別に作成し、音声を埋込みます

-dv:ソースを DV/DVCAM に変換します

-dvcpro25:ソースを DVC Pro25 に変換します

-rangef <start> <end>: <start>フレームから <end>フレームまでの映像を変換します

-ranget <start> <end>: <start> 秒から <end> 秒までの映像を変換します

-extract:DV オーディオを取出します

-wav:WAV 形式に取出します(オプションを省略した場合)

-aiff: AIFF 形式に取出します

-ch0:チャンネル0を取出します(モノラル)

-ch1:チャンネル1を取出します(モノラル)

- -ch2:チャンネル2を取出します(モノラル) (4 チャンネル 32kHz ファイルの場合)
- -ch3:チャンネル3を取出します(モノラル) (4 チャンネル32kHz ファイルの場合)
- -ch01: チャネル 0 とチャンネル 1 を取出します(ステレオ) (オプションを省略した場合)
- -ch23: チャネル 2 とチャンネル 3 を取出します (ステレオ) (4 チャンネル 32kHz ファイルの場合)
- -ch0123:4 チャネルともすべて取出します (クォッド) (4 チャンネル 32kHz ファイルの場合)

-insert: DV オーディオを挿入します

<input file(s)>に音声ファイル、映像ファイルの順で記載します

-insert2:2 つのモノラル音声ファイルを DV オーディオに挿入します

使用例: -insert2 <left_channel.wav> <right_channel.wav> <video_file>

-join:ファイルを連結します

(<input file(s)>に連結するファイルを)指定します。ワイルドカードによる指定はできません)

-chgcodec: AVI のコーデックを変更します

-codec <kind>:kind は次の中から選びます

"DVC Pro25", "Microsoft", "MainConcept", "Matrox", "VAIO",

"Adaptec", "Miro", " Canopus ", "DV500", "DVMaster"

または、カスタムコーデック ID を使用します(<kind>は4文字です)

-inplace:指定したファイルを修正、書替えます

-addtc: AVI 形式ファイルに Premiere タイムコードを付加します

-filename:ファイル名からタイムコードを読取ります

-dvframe: 最初の DV フレームからタイムコードを読取ります(オプションを省略した場合)

-inplace:指定したファイルを修正、書替えます

-addcopy:コピーライト(著作権)情報をAVIファイルに付加します

-info "text":コピーライト情報として"text"を付加します

-inplace:指定したファイルを修正、書替えます

-help:ヘルプを表示します

<input file(s)>:

ファイル名やディレクトリー名、ワイルドカードを使用できます(例 /DIFs/*.dif)

QuickTime/AVI/OMF/DIF や SONY ES-3、DU1 DV ファイルは入力として認識します。

[output folder]:

存在するローカルフォルダーや ftp フォルダーを指定します。ftp フォルダーは次のように指定します。

"ftp://user:password@ftp.hostname.net/path"

ユーザー名やパスワード、パスはオプションです。テンポラリーフォルダーは-temp オプションを 指定します。(例 -temp C:¥TMP)。または、環境変数 TMP を使用します。

出力フォルダーを省略した場合は、入力フォルダーに出力します。

入力と出力の path+filename(パス+ファイル名)は同じであってはいけません。

パス、または、ファイル名のどちらかを変える必要があります。

[output filename]:

省略したときは、input filename(入力ファイル名)と同じ名前になります。

"<source>"または"*"は、拡張子を除いた input filename (入力ファイル名)を表します。

"<source.ext>" は、拡張子が付いた input filename(入力ファイル名)を表します。

例

- フォルダー内のすべてのファイルを AVI Type 2 形式に変換し、destination フォルダーに書出します。 dvfc -avi -t2 /source/folder /destination/folder
- 2. フォルダー内のすべての.mov 形式ファイルを DIF DVC Pro25 形式に変換し、同じ source フォルダーに 書出します。

dvfc -dif -dvcpro25 /source/folder/*.mov *.dif

- 3. 指定した 1 つのファイルを DIF DV 形式に変換し、ビデオサーバーにアップロードします。 dvfc -dif -dv /source/folder/file.avi ftp://user@video.server.net *.dif
- 4. 全サブディレクトリー内のすべての AVI 形式ファイルを.mov」形式に変換し、同じサブディレクトリーに書 出します。

dvfc -qt C:/IMPORT/*/*.avi C:/EXPORT/* *.mov

Prefernces ページ

「Preferences」タブをクックすると、Preferences ページが表示されます。このページで DV->DVC Pro25 変換、および、DVC Pro25->DV 変換用のコーデックを選択します。DV と DVC Pro25 はまったく別のデータ形式です(デ ータセグメントのサイズも異なれば、カラーサンプリングも異なっています)。相互にデコードと再エンコードをする ことなく変換することはできません。そのようなわけで、このページで正しいコーデックを選択します。

tip:DVコーデックを持っていない場合は Matrox の web サイトから自由に使用できる DV/DVC Pro ソフトコーデッ クをダウンロードしてください。Matrox の web サイトは以下のとおりです。 http://www.matrox.com/video/support/ds/software/codec/home.cfm

Datavideo DV File Converter v1.0
Codec Settings
DV Encoder: DV Video Encoder (DirectX)
DV Decoder: DV Video Decoder (DirectX)
DVCPRO Encoder: Matrox DVCPRO (VfW)
DVCPRO Decoder: Matrox DVCPRO (VfW)
DV/DVCPRO codecs are used only for DV->DVCPRO and DVCPRO->DV conversion
Temporary Folder
Temp Folder: C:\Temp The temporary folder is used only for ftp transfer
Auto Start
Start Processing Automatically On Program Start

Video For Windows (VfW)、DirectX DV どちらのコーデックも使用できます。

About ページ

「About」タブをクリックすると About ページが表示されます。フィードバックの送信と最新版を確認できます。



Read Documentation

ローカルディスク内の HTML 文書 (ReadMeFileConverter.html)をブラウザで表示します。

Registration ページ

「Registration」タブをクリックすると、Registrationページが表示されます。製品のユーザー登録を行えます。

Datavideo DV File Converter v1.0	
1. Enter Registration Key:	
Name:	
Organization:	
Key:	
Please enter the same name and organization information as you did when you registered.	
2. Press this button: Register!	

1. Registration Key(登録キー)を入力する

名前と所属名を正確に入力し、「Register!」ボタンを押します。

ユーザーライセンス使用許諾に関する同意を求める文章が表示されます。

2.「Register!」ボタンを押す

改版履歴

2007年11月2日-v1.0-初版発行

datavideo は、 Datavideo Technologies Co., Ltd の登録商標です。 日本語訳・制作 株式会社エム・アンド・アイ ネットワーク

2011.08.10